



年頭にあたって……………P 2

一 般 質 問 ……P 3～9

委 員 会 等 の 動 き ……P 10～11

町 議 会 審 議 結 果 ……P 12～14  
11月臨時会 12月定例会

議 員 勉 強 会 報 告 ……P 15

表 紙 の コ メ ン ト ……P 16

発行/上川町議会 編集/議会広報特別委員会



「いきいきセンター たいせつの絆」が5周年を迎えました

(上川町社会福祉協議会 地域コミュニティ系の皆さん:左から池端さん、松岡さん、佐藤さん)

# 年頭にあたって

本年最初の議会広報の発刊に併せて一言ごあいさつ申し上げます。また、日頃から議会運営に対し格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

去年は元旦早々に、マグニチュード7.6の能登半島地震が発生しました。そして翌2日には、羽田空港地上衝突事故と衝撃的な出来事が年頭にありました。11月に町村議会議長全国大会後、上川中央部8町の議長で能登半島の能登町に視察研修に行き、1月の震災、そして追い討ちをかけるかのような、9月の奥能登豪雨の被害を目の当りにしました。まだまだ先の見えない復興、住民の不安を抱えての生活、お気の毒でなりません。改めて、上川町の災害の少ない地形や日頃より災害予防に携わる、消防職員、団員、町職員又毎年防災訓練を行っている上川町社会福祉協議会の皆様に感謝申し上げます。

上川町は開拓130周年、開村100周年と節目の年をむかえ、10月に“みんなが輝くまち上川町130年大感謝祭”が盛大に開催されました。

又130周年記念事業として、原田雅彦さん勢藤優花さんのトークショーや文化講演等の事業に大勢参加いただき、共に楽しくお祝いする事ができました。又もう1つ、カナダロッキーマウンテンハウス町との姉妹都市提携も40周年をむかえました。コロナ禍で中断されていた、中学生の交流も復活され、カナダの子供たちが上川町に訪れました。今後も心の交流を中心に良い関係を続けてもらいたいと思います。

近年の地球温暖化の影響で例外なく上川町も暑い日々が続く、熊の出没も相次ぎました。又小中学校の冷房機器設置も早急に進めたいところです。今年は認定こども園の開園そして義務教育学校移行への調査開始、上川高校存続の為のさらなる魅力向上と子供を取り巻く環境が大きく変わっていく事になるでしょう。さらに子供たちがのびのびと心豊かに育つよう環境整備を考えたいです。

上川町では、若い方が起業され、空き店舗がリニューアルされ、街ににぎわいが戻ってきた事、又上川町に魅力を感じて移住された方が増加中でとても嬉しいです。上川町は常に町も人もイキイキと動いている、熱い鼓動が感じられる町でありたいと思います。

昨年4月の町議選挙後、私が議長を務めさせていただく事になりました。まだまだ成長過程にありますが、多種多様な御意見をいただき、町民の皆様の代表として議会運営に活かして行きたいです。今年も御指導宜しくお願ひ申し上げ年頭の言葉といたします。



上川町議会議長

濱田 純子

## 第7回町議会

# 一般質問

令和6年第7回町議会（定例4）の一般質問は、12月18日に行い、瀧上議員ほか計5人が町長の考え方を問いました。

（記事の内容は要点を掲載しております。）

### 公共施設

施設整理で管理費を減らし福祉等へ

他1件

町長「利便性低下は免れない。減らした分の予算の用途を明確にし、理解求めたい」

公共施設の今後の在り方について

瀧上議員

上川町は観光資源などが豊富なこともあり、人口規模など類似する自治体より多くの公共施設を所有している。しかし今後は人口減少が進み、町民税や地方交付税などの歳入は減る。一方、施設の維持管理費は横ばいかそれ以上かかる。このままでは施設を維持するのは厳しいと考える。

町長 長期的な視点で公共施設を総合的・計画的に管理する必要がある。そのため「上川町公共施設等総合管理計画」を策定し、施設の構築を進めているほか、指定管理者制度など民間活力の導入により、効率的で質の高い公共サービスを行っている。

また地域や組織の枠を超えた地域連携の動きもある。

瀧上議員

管理計画に沿ってどの程度進めてきたか。

町長 計画に沿って進めるのが基本だが、緊急性や老朽化している現状に対応し進めている。

瀧上議員

この計画では、

将来の人口を予想した上で、人口が減り自主財源が減少すれば施設を減らすと記載されている。現在予想以上に人口は減少している。早めに施設の整理を進めなければならぬ。

町長

行政サービスを維持するために施設を保有し続けたいが、難しさがある。そういったこともあり、振興局を中心に広域で自治体連携が進んでいる。

施設の統廃合の検討について、議会側から財政難を理由に提案があったので動きを速



ふちかみ かずみ 議員  
瀧上 主美

めてみようと思いは始めている。ただサービス低下や雇用面に留意する必要があるほか、地域の衰退も懸念される。

さらに統廃合した際に発生する有剰金の用途が重要となる。様々な支援の拡充や教育にあてるなど、用途を明確にする。

施設の統廃合については住民の理解と合意が必要であり、時間と労力がかかる。施設の在り方、検証、方針含めて、議会と一緒にプロジェクトを作り、取り組みを進めたい。

瀧上議員

共に取り組んでいくのは賛成である。

今、義務教育学校の設立が検討されているが、現在、小中学校それぞれに年間4千万円の経費がかかっている。どちらかの施設に統合するとなれば、相当な経費の節減になる。今稼働している施設につ

いて検証し、施設の取捨選択をしなければならぬ。

**町長** 施設の経済効果も含め検証し、指定管理者制度の民間活力を生かし、稼げる施設を目指したい。必要な施設は残し、統合や広域連携を検討していく。

**洲上議員** 広域連携について、どのようなことが考えられるか。

**町長** 老朽化しているプールや火葬場について、愛別町等との連携を考えている。

### 高齢者福祉タクシー料金等と福祉灯油の助成の拡大について

**洲上議員** 高齢者福祉タクシーの助成額は、以前は6千円だったが現在は2千円となっている。町内を巡回するコミュニティバスが安価で利用できることになり、助成額が減額になったが、通院や買い物には利用しづらい。

福祉灯油は100ℓ分の助成だが、灯油価格は上がって

いる上、灯油100ℓは1月程度の使用量になる。残りの冬期間の灯油代は家計への負担が大きい。助成を拡大できないか。

**町長** コミュニティバスかみくるは、町民の移動手段として重要な役割を担っており、様々な目的に利用されている。高齢者福祉タクシー料金等の助成事業は現行制度を維持し、公共交通と福祉の向上、質の高いサービスを提供していく。

福祉灯油については、灯油価格の高止まりによる家計への影響を懸念している。福祉灯油助成事業は現行制度を基本に、国の非課税・子育て世帯への支援を活用し、生活の安定を図る。

**洲上議員** かみくるは、1日100円で利用できるが、利用者が固定している。たいせつの絆が往復利用しやすく、利用が一番多い。通院や買い物には、せいぜい片道利用しかできない。バス停まで行き、そこで待つのは、特に冬場、高齢者にとっては厳しい。

**町長** コミュニティバスは近隣町にはない。利便性が低いと言われるが、今年4月に運行経路やダイヤ改正をして利便性を図ってきた。かみくるの経路上であれば、呼び止めて途中で乗ることもできる。JRダイヤ改正が予定されているが、それも対応する。

**洲上議員** 冬は路面が滑りやすく外出は避けたいが、通院や買い物は行かざるを得ない。タクシーを利用すると、例えば医療センターの場合、2000円の助成額では、往復で2回利用できない。かみくるの利用実態や町民の声を聞き検討してほしい。

**町長** 今、地域公共交通計画を策定し、周辺地区の方の公共交通の確保・利用の協議に入る。高齢者タクシーについても検討できればと考える。また国の支援制度が成立したので、これを活用しながら進めていく。

**洲上議員** 福祉灯油について、国からの支援を活用す

るとあったが、これは全国一律の支援である。福祉灯油は寒冷地における支援で、性質が違う。

**町長** 昨年ペイチケットでの支援を行ったが、金額の18〜19%が燃料代に充てられていた。支援時期にもよるが、今のところ国の支援を活用したい。

**洲上議員** 灯油代が今月と来月で5円ずつ上がり、寒冷地にとっては大変な痛手である。

答弁では現状維持ということだが、次の冬場に向けて補正予算も視野に入れて対応願



高齢者福祉タクシー等助成と福祉灯油助成のチケット

う。

**町長** 国の支援を活用していくのが基本だが、国の動向が激変する際は、検討していく。

**湖上議員**

町の収入は減る一方だが、施設の維持管理費は横ばいかそれ以上かかる。しかし町民の生活支援額は、人口減少とともに減少するので収支の開きはない。施設にかかる費用・必要度と生活支

援にかかる費用の価値を再考し検討するべき。

**町長** 施設の今後の在り方で答弁した通り進めたい。

**入湯・宿泊税**

**入湯税・宿泊税の値上げに踏み込むべき**

**町長「先行自治体を見ながら協議する。宿泊税は年明けから議論」**

**上川町の観光振興と財源について**

**湯川議員**

北の山岳リゾートを目指し取り組みをすすめている上川町では、層雲峡の玄関口にある旧ホテルの撤去工事が国の直轄事業として行われている。層雲峡中央商店街周辺では木道整備舗装工事も進捗をみせている。

層雲峡地区活性化については、中央商店街周辺の店の意向調査や通年で利用できる施設の施設、町の温浴施設等の充実、質の高いサービスが求められる、山岳リゾートにふさわしい景観、保全、インフラ整備など課題が山積している。今後どのように層雲峡のま

ちづくり景観づくりを進めるのか。また観光振興の財源について、北海道は宿泊税導入の考えを示し、各自治体でも様々な施策を考えていると思われるが、財源についても考えを伺いたい。



湯川 秀一 議員

**町長**

昨年度、層雲峡地区の活性化を図ることを目的に、国・道・町及び民間事業者が一体となって組織した「層雲峡地区活性化地域協議会」では、層雲峡地区を8つのエリアに分けるとともに、

エリアごとに魅力的な自然資源及びフィールドの発掘、体験型コンテンツの造成、地域食材を使用した食事メニューの開発、景観改善や観光地としての基盤整備などに向けた議論を進めている。

また、今後の観光振興策を行う際の財源については、平成30年4月以降の入湯税について、既に層雲峡温泉大手5ホテルの宿泊者から100円増額の250円を先行して徴収している実態ではあるが、更なる財源の確保も必要であると認識している。

北海道では、令和8年4月から宿泊税を導入する方針が示されているとともに、近隣では旭川市や美瑛町などが導入に向けて検討中であると聞いている。

当町における宿泊税の導入や入湯税の増額については、先行自治体や主要観光地から情報収集するとともに、地元観光団体や事業者とも議論を行いながら、検討していきたい。

**湯川議員**

旧ホテル層雲の撤去を、層雲峡玄関口の公



層雲峡玄関口の旧ホテルが撤去されるなど、景観改善が進められている

営住宅のあり方についても考  
える契機にして欲しい。

また、黒岳の湯は指定管理  
者が変わり、大変サービスも  
向上している。温浴施設と  
もに食の施設も共通の方で運  
営してもらえれば、より充実  
させることができると思う。  
黒岳の湯は、高齢者が階段を  
上がるのがつらいため、国道  
近くへ平屋として移設するこ  
とを望む声もある。

また、銀河・流星の滝の滝  
ミントラの施設についても老  
朽化が激しく、事業者から要  
望を寄せられている。そして、  
小函遊歩道についても検討し  
ていかなければならない。  
それらを踏まえて財源につ  
いて、入湯税をさらに最低50  
円増やすべき時期に来ている  
と思うがいかがか。

そうでない場合、町単独の  
宿泊税についてどのように考  
えるか。その両方について町  
長の考えを伺いたい。

**町長** 公営住宅につい  
ては今後1棟ずつ除去してい  
きたい。

黒岳の湯は、指定管理者に  
よくやっていただいている。

町全体の財源の観点から、今  
後の公共施設の在り方として  
検討していく。

また、滝ミントラについて  
は北海道が施設の対面にある  
トイレの整備を進めていく方  
向であり、指定管理者、事業  
者と協議したい。

小函については、あの景観  
をなんとか見せたいと思っ  
ている。今、国から町へ移管手  
続き中ということもあり、遊  
歩道を利用できないか検討し  
ていく。

## 義務教育学校

学校が大きく変わる。小まめな情報提供を  
教育長「意見交換会など設け地域住民に  
も説明していく」

### 義務教育学校について

#### 宮本議員

町長は就任時

に義務教育学校の設置を検討  
していきたい、と言っており  
広報誌にも考えを述べている。  
全国的にも規模を問わず多く  
の学校が取り組んでいる。  
義務教育学校への取り組み

施設については国・道・町・  
層雲峡の事業者が、それぞれ  
の役割を果たさなければなら  
ない。公共施設については、  
辺地債を利用できるよう進め  
ていきたい。  
財源のうち入湯税について  
は、大雪山ツアーズの取り組  
みの活性化が重要である。  
町単独の宿泊税については、  
やるにしてもやらないにして  
も年明けに議論をスタートさ  
せたい。道に合わせて宿泊税  
を導入する場合スケジュール

や現在の進捗状況、今後の推  
進の見通しについて教育長の  
考え方を伺う。

#### 教育長

義務教育学校に

移行することで、9年間を通  
じた目指すべき教育の姿が明  
確になり、きめ細やかな指導  
を深める教育を実現できるこ  
とから移行の検討を進めてい

がタイトであり、9月か12月  
までに提案する必要がある。

#### 湯川議員

財源不足の中、

町独自の宿泊税があった場合、  
昨年で40万人弱の宿泊があり  
貴重な財源になると思う。  
今、地域を訪れる観光客に  
は、その地域を育てるために  
少しご負担をお願いする流れ  
があるのでないか。町全体  
観光、商工、農業の活性化が  
進むよう前向きに考えていく  
べきである。



みやもと たかよし 議員  
宮本 敬嘉

る。

本年度は各自自治体の取り組  
み内容の調査や先進地視察先  
の候補選定を行っている。来  
年度から本格的議論をスタ  
ートする。

今後の推進体制や移行に向  
けた課題整理のため検討委員  
会の設置を予定しているほか、

町ぐるみの体制づくりが必要であると考えているので議論を進めていきたい。



小学校と中学校での教育を一体的に行う義務教育学校への移行が検討されている

**宮本議員** 義務教育学校というのは分かりにくい感覚ではないかと思う。学校の在り方が大きく変わるわけで保護者以外の人たちも大いに心のあることだと思う。今後よりいっそう細かく配慮しながら進めてほしいと考えているが、教育長の考え方は。

**教育長** どのように進んでいるのか、義務教育学校とはどのような学校なのか疑問を持っている方もいると思う。町民向けの意見交換の場などの説明会を考えている。上川

町学園構想の中で、上川町の教育の進め方を含め地域住民にも説明していきたい。

**宮本議員** 児童生徒の保護者にとって不安がないような対応を今後お願いしたいと思う。

検討委員会について、今後どのように進めていく考えなのか。

**教育長** 考え方としては、教職員を中心として学校現場の関係者で状況を確認しながら意見を集約していきたい。

## 農家支援

生産資材高騰による離農を防ぐ支援策を町長「町単独の支援には限界がある。国の動向を注視し支援策を検討していく」

生産資材等の高騰に伴う農家経営支援対策について



酪農家は牛の飼料などの生産資材の高騰に悩んでいる

**昔農議員** 町内の農業全般において厳しい経営状況が続いている。特に酪農、畜産関係は、近年の猛暑による乳量の減、飼料価格や生産資材の高騰が続く、危機的な経営状況となっている。

町の基幹産業である農業の、持続可能な農業経営に向けた対応策が必要と考えるが、今後に向けた対応、支援策など町長の考えを伺う。

**町長** 肥料、飼料及び燃油価格の高止まり傾向により、農業者が厳しい環境にあ

その後町民に説明していきたい。

**宮本議員** 今後、随時行政側から情報を出してもらいたいので対応をお願いする。



せきの まさはる 議員 昔農

ることは認識しており、心配もしている。

令和4年度には、国からの地方創生臨時交付金を活用し、コロナ禍における原油価格・物価高騰対応として、各種支援策を行った。

また、令和5年度にはJA上川中央が中心となり、全日本配合飼料価格畜産安定基金からの「配合飼料価格差補てん事業」により、農業者に補てん金の交付があったと聞いている。

厳しい財政運営の中、上川

町単独での支援策には限界もあるが、今後においても農業関係団体と連携を密に取りながら、酪農・畜産農家の経営状況の実態把握に努めるとともに国や道に対しても意見反映を行っていきたい。

なお、国では、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対する支援策が閣議決定されており、具体的な内容が今後明らかになってくる。それらの動向に注視しながら、町としても重点的、効果的な支援策を検討していく。

### 昔農議員

現在、全国では酪農家が1万戸を割り、減少率が年6%前後に上昇している。道内でも対前年4.4%の減少で、1年間で約200戸あまり酪農家が減少している。

その要因は、高齢化もあるが、多くは飼料価格をはじめ生産コストの増によるものである。さらに、酪農家アンケートによると、全体の約5割が今後、酪農を検討しているという。

道内の牛乳生産量は、全国

の6割を占めており、日本の食料基地である。近い将来農家戸数が半減することが予想されるが、食料自給率の低下を食い止めるべく酪農対策が急務と思う。

国の配合飼料の安定基金緊急補てん制度は、本年度は補てんの対象にならないと聞いており、本年度は特に厳しい経営環境となっている。

これらの対応策については、地方自治体では限界がある。国・道がもつと危機感をもつて、短期的には現金給付や融資拡大など大規模な支援策が必要と考える。

町の基幹産業である農業の中でも、酪農・畜産は、町内の農畜産物販売額の約6割を占めている。今後持続可能な経営に向けて支援策が必要と考えるが、現在の情勢を踏まえ、再度町長の考えを伺う。

### 町長

今の酪農・畜産の情勢については、国が直接的に支援をしていくべきものであると、同様に思っている。飼料価格の高止まりのため、昨年との差額が発生せず支援の対象外となったこともあり、大変な苦労されているだろうと思う。現状のまま経営

が続けられないといった酪農事業者もあり国・道にしっかりと意見反映していかねばならない。

国からの交付金でどの程度手立て出来るかはわからないが、検討していきたい。

### 昔農議員

昨年、町内唯一の養豚業が廃業したこともあり、JA等関係機関とも十分情報を共有し、町の基幹産業を守るため、最大限可能な支援策に取り組んでほしい。

## 道路インフラ

道路の老朽化が深刻。早急な対処を

町長「施工方法・財源など検討し、令和7年度中に計画を立て進めていく」

### 道路インフラ老朽化について

#### 笠間議員

町内の道路インフラ整備も進められ既に数十年が経過した。町の中心部は土地区画整理事業に伴い道

路も綺麗に整備された今、インターロッキング歩道、各町内の歩道、車道部は凍上や路盤沈下等老朽化が進み、マス、縁石、路面の凹凸が激しく生活道路の支障となり危険箇所も点在している。



笠間 高博 議員

町長も道路状況を把握され調査を行い年次計画的に道路改修を進めるとの事だがどの様に進めて行くのか。まず高齢者、歩行者の安全性の確保を優先し、上下水道

等工事完了路線から改良工事を進め安心・安全な道路網を整備し綺麗な町づくりを進めて行くべきと思うが町長の考えを伺う。

**町長** 上川町の道路現況については、実延長189.5キロメートルの維持管理を行っており、その内町道の改良済延長86.3キロメートルで改良済率が45.5%となっている。

歩道、車道部の凍上や老朽化による路面の凹凸などの支障については、歩道内のマスのすり付けによる段差解消や、車道の支障箇所を部分舗装で補修する措置を行っている。

また、「道路状況を把握する調査を行い、年次計画的に道路改修を進める」ことについては、「高齢者、歩行者の安全性の確保を優先し、上下水道等工事完了路線から改修工事を進め安心・安全な道路網の整備」に考慮しながら進めていきたい。

現在担当で道路現況データにて現状把握を進めているが、路盤厚が薄く凍上の影響を受ける路線や同一路線において

も複数の路盤構成となつている箇所もあり、改修方法や、財源確保のための施工基準に合うかどうかなど多くの検討課題がある。

なるべく早く着手できるように現場確認も行いながら令和7年度中に年次計画等を作成し、順次改修等を進めていきたい。

**笠間議員** 調査、調査と言うが、実際にその調査を行い、その結果は町長に報告等があったのか伺う。

**町長** 調査は担当の方で行っている。具体的な報告はないが、道路状況についての話し合いは行っている。

**笠間議員** 歩道のマスすり付け、段差解消、車道の支障箇所の補修措置を行っているとのことだがいまだ危険箇所も点在し、転倒怪我をされ

たとの話も聞く。早急に対応してほしい。

インターロッキング歩道も年々ブロック1個1個が乱れ支障になっていく所がある。年次計画でインターロッキング歩道もバリアフリー化として舗装に改良しては。

**町長** 指摘のとおり、そういった箇所が多いと認識しており、町民からも御意見を頂いている。急いで補修、修繕措置を進めて行きながら年次計画を立て整備していきたい。

**笠間議員** 町内の車道部も老朽化が進み、わだち掘り等での水たまり、特に上下水道工事で横断・縦断工事後の沈下による段差が非常に支障になっている。パッチング補修等行いながら改良工事を進めるべき。

舗装厚も1層〜3層のところもあるが、調査をしたうえで改良する所は改良し、路盤等支持力があるのであればレベリングをし、切削オーバーレイ工法等選定する事によりコスト削減にも繋がると思う。

**町長** 車道部については、数十年前に防塵対策として舗装をし、路盤厚も浅い。対症療法としてオーバーレイを施工し今の状況となっている。改良するに当たり排水管の深さ等も影響してくる。

施工方法は、日東東雲線で新しい工法として断熱材を引き、良い状況とのことだ。そういった工法も含め、提案を参考に職員と研究をしながら道路整備にあたっていきたい。

**笠間議員** 第10次総合計画も残すところ約3年だが、道路整備の推進では、改良舗装工事はほぼ進められていない状況だ。

令和7年度中に計画を作成するとのことだが、総務省でも「自治体施設、インフラ整備の老朽化対策、防災対策のための地方債活用の手引き」の中で、長寿命化対策費で30〜50%が交付税措置されるとある。

町の施設等老朽化が進み大変な時期だが、これを活用しながら安全・安心・綺麗な町づくりを進めてほしい。



舗装が老朽化し、破損箇所が目立つ歩道

# 委員会の動き

## 総務文教常任委員会

▽11月1日

・所管事務調査 2件

『自治体フロントヤード改革モデルプロジェクト提案事業』

『上川高等学校魅力向上対策等』  
担当課から説明を受け、質疑・意見が交わされた。

### 窓口人員の削減計画あるのか

□議員  
溝委

フロントヤード改革によって、人員を削減する計画はあるのか？

総務課長

人員削減のための事業ではない。窓口に来た住民に、より短い時間で気持ちよくお帰り頂けるように効率化する。その上で窓口業務以外の企画に携わる時間を増やしたり、残業を減らしたりすることが目的。



フロントヤード改革のひとつ「総合案内AI」の説明を聞く議員たち

### 上川高校の入学者減の要因は

□議員  
溝委

中学3年生の上川高校への進学希望者が15人中1人と少ない理由は？

教育次長

進学校への希望が多い。また、旭川市内の高校が自己推薦方式を取り入れたり、職業科で定員割れが起きたりという状況の中、外部受験に挑戦したいという生徒が増えたようだ。

### 地域留学を取り入れては

大村委員

少子化もあり、魅力化だけで入学者増は難しい。ほかの地域から下宿込みで生徒を受け入れる「地

域留学」を検討してはどうか。

教育次長

今年、中学生向けの地域みらい留学の説明会に行ってきた。約150校が参加しており、この中から選ばれる高校になるのは難しいと感じた。まずは現在検討中の「上川町学園構想」で魅力向上に注力したいと思う。

▽12月9日

所管事務に関する意見書審査



上川高校の海外研修。魅力化プロジェクトとして、事前学習と事後学習を行い、深い学びを追求した

## 産業福祉常任委員会

▽11月18日

・付託事件『上川町認定こども園条例の制定について』  
9月定例会で付託された本条

例の審査が行われ、職員の勤務時間や、認定区分の変更の可否などについて質疑が交わされた。

・所管事務調査 3件

『上川町認定こども園整備事業』  
『妊産婦健康診査交通費助成事業の拡充』

『層雲峡地区活性化計画』  
担当課から説明を受け、質疑・意見が交わされた。

### こども園備品の発注状況は

□議員  
宮本委員

備品は発注済か。物の値上げが激しいが、予算に不足など発生しないか。

担当係長

ほぼ発注済。予算内に収まる予定となっている。

### 園児等の受け入れ態勢づくり

農委員  
昔委員

施設が完成したので、今後はスムーズに子ども達を受け入れる体制づくりに努めてほしい。

保育所長

現在も行っている月1回の教諭同士の協議会を継続する。また1月

に保護者説明会、2月に園児の施設体験を行い、その反応等で課題の洗い出しを行いたい。給食の試作会も検討中。スムーズな移行のために一層努力していく。

### 層雲峡で脱炭素の取り組みはあるか

**石山委員**  
脱炭素等の先進的な事業をやれば注目を集められると思うが。

**副町長**  
ホテル層雲跡地の地熱が注目されているほか、立体駐車場にソーラーパネルを壁面配置している。国立公園内にふさわしい発電や、脱炭素エネルギーの活用を模索している。

### 層雲峡プロムナード（商店街）の活性化

**湯川委員**  
空き店舗が多く、通年で食べられる食事処がない。今後の町としての取り組みは。

**副町長**  
観光事業者からは、新規参入を後押しするチャレンジショップを作ってほしいという要望がある。それも参考に、層雲峡の振興計画を策定している。



空き店舗が目立つ層雲峡プロムナード

### 議会運営委員会

▽11月27日・12月13日  
上川町議会定例会および臨時会の運営について

### 議会広報特別委員会

▽12月27日・1月16日  
議会広報第196号の編集及

び校正について

### 全員協議会

▽11月18日  
『特別職及び議員の報酬、職員  
の給与等の改定』  
『非常勤特別職等の報酬の改定』

▽11月21日

『法務基礎研修く条例ってなに？』  
『一般質問の組み立て方』  
※p15に特集

▽12月9日

『議会のペーパーレス化・タブレットの活用について』  
※p15に特集

### 過去の議会を動画

で見ることができます

YouTubeの  
【上川町議会チャンネル】  
へアクセス



右の二次元バーコードを読み込むか、インターネットで  
【上川町議会チャンネル】と検索してみてください。



## 意見書を提出しました

- ◆将来に希望が持てる次期基本計画の改訂と現場に寄り添った農業政策の実現を求める意見書  
(提出者：石山浩幸)  
【提出先】内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣

### 意見書は町から国へのおねがい

議員は、上川町の政策に町民代表として意見を言うことで、町民の生活をよりよくしていくことができますが、町民にとって重要なことが国や道の政策であるときは「意見書」を提出して問題解決を求めています。



# 議 案 審 議 結 果



## 11月臨時会

11月27日に開会し、専決処分の承認1件、条例の改正3件、一般会計ほか全5会計の補正予算などの9件を審議し、27日中に閉会。

### 可決議案等

#### ■専決処分

##### ◎令和6年度上川町一般会計補正予算（第6号）

衆議院解散に伴い、衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が10月27日に執行されたことから、これら選挙事務に係る経費646万2千円について補正し、そのことの承認を求めた。



今回購入した、開票作業のための投票用紙自動読み取り機

#### ■条例の改正

##### ◎「上川町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」の一部を改正する条例について

##### ◎「町長等の給与に関する条例」の一部を改正する条例について

##### ◎「職員の給与に関する条例」の一部を改正する条例について

本年8月8日に令和6年人事院勧告が出され、上川町においても公務員給与と民間給与とのマイナス格差を解消するために職員の給与条例を改正した。議員・町長等についてもそれに準じた改正を行った。

#### ■補正予算

##### ◎各会計における補正予算

歳出の主な内容

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般会計	322万円	62億2,005万4千円	62億2,327万4千円
国民健康保険 上川町立診療所 事業特別会計	414万5千円	4億5,174万8千円	4億5,589万3千円
介護医療院事業 特別会計	134万5千円	1億6,509万3千円	1億6,643万8千円
簡易水道事業会計 (水道事業費用)	△4万4千円	1億6,099万円	1億6,094万6千円
下水道事業会計 (下水道事業費用)	77万円	2億8,411万7千円	2億8,488万7千円

条例改正により、給料・賞与・手当等・共済費及び社会保険料が再計算された

Q. 「専決処分」ってなに？  
A. 10月の選挙にかかる費用は専決処分で執行されました。本来、町のお金は、議会で事前に承認されたことしか使えません。けれど、急な出費の必要があり議会の開催がどうしても間に合わないときがあります。そのときは議会に代わり、町長がお金の使い方を決めます（専決処分）。そして、後から議会に承認を求めめるのです。

### Pick Up ! 民間と公務員の給与格差を是正しました

毎年国から、民間と公務員との給与格差是正のための勧告が出されます。上川町でも勧告内容と町財政を鑑みながら、毎年職員等の給与を増減すべきか検討しており、今回は給与等のアップに踏み切り、条例改正3本、補正予算5本が提出されました。



Q.「付託」ってなに？ A. 上川町では新しい条例を作るとき、一回の議会で決めることはしません。一度、常任委員会に条例の中身の審査を依頼し（付託）、じっくり話し合ってから、次の議会で改めて採決します。定例会2回分、おおよそ3か月の期間をかけて慎重に決めていきます。

## 12月定例会

12月18日に開会し、条例の制定3件、条例の改正5件、一般会計ほか全6会計の補正予算、協約の変更1件などの14件を審議し、18日閉会。

### 可決議案等

#### ■条例の制定

◎上川町認定こども園条例の制定について

⇒9月定例会で産業福祉常任委員会に付託後、可決された。

◎「大雪レクリエーションの森設置条例」の制定について

森林内でのレクリエーションを通し、森林及び林業に対する理解の促進を図るための施設を設置するため、条例を制定する。

◎「大雪森のホール設置条例」の制定について

森と親しむ事業及び森林内での芸術等文化的活動や学習を通して、森林への理解や森林及び林業文化の醸成を図るための施設を設置するため、条例を制定する。

⇒産業福祉常任委員会に審査を付託。



大雪レクリエーションの森では、マウンテンバイクを楽しむことができる

### 質疑の様子??

#### 溝口議員

今後の維持管理経費はどの程度かかるか。財政は厳しい。費用対効果も考えて精査してほしい。

#### 産業経済課長

予算編成中で金額は示せないが、費用は最小限に抑える。来年度からは、指定管理者によるマウンテンバイクコースの維持管理や利用者の管理を想定しており、そのための指定管理料を見込んでいます。

#### ■条例の改正

◎「上川町印鑑の登録及び証明に関する条例」の一部を改正する条例について

◎「上川町手数料条例」の一部を改正する条例について

令和7年3月6日からコンビニエンスストア等の多機能端末機により、印鑑登録証明書や住民票等各種証明書の交付サービスが開始されることに伴う改正

◎「上川町子ども医療費の助成に関する条例」の一部を改正する条例について

◎「上川町ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例」の一部を改正する条例について

◎「上川町重度心身障害者医療費の助成に関する条例」の一部を改正する条例について

保険証のマイナンバーカードとの一体化に伴い、これらの医療費助成を受ける者が、医療保険各法に基づいて被保険者等であることの確認を受け、さらに医療受給者証を提示することを定める改正



### Pick Up ! 旭ヶ丘に森を愉しむ施設ができます

昨年度から旭ヶ丘では、森の中でマウンテンバイクを楽しむコースを作ったり、森の中で美術展をするなど「森」に特化した取り組みを行ってきました。今回それらの森林空間を、正式に町の施設として「大雪レクリエーションの森」「大雪森のホール」と名づけました。今後は民間委託も視野に入れ、上川町の森を愉しむ施設として発展させていく予定です。

## ■協約の変更

### ◎連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更について

新規連携事業として「就業マッチング促進事業」等が追加された。

## ■補正予算

### ◎令和6年度上川町一般会計補正予算（第8号）

歳出の主な内容

	補正額	補正前の額	補正後の額
		△ 4,631万5千円	62億2,327万4千円
議会費	△ 141万5千円	議員共済掛金の減、旅費の減 等	
総務費	△ 5,394万8千円	上川層雲峡線（バス）に係る広域生活交通路線維持費補助金の増、地域おこし協力隊の人数の減少による報酬等の減、町長・町議会議員選挙費の減 等	
民生費	△ 318万円	児童手当制度拡充に伴う扶助費の増、たいせつの絆のポイラー修繕料の増、後期高齢者医療事業の負担金の減 等	
衛生費	490万6千円	新型コロナワクチン購入に伴う消耗品費の増、子宮頸がん・带状疱疹予防接種に伴う手数料の増 等	
農林水産業費	969万2千円	畑地化促進事業負担金の増、道営土地改良越路豊原農業用道路整備事業の完了に伴う負担金の減 等	
商工労働観光費	△ 248万2千円	写真ミュージアムの会計年度任用職員報酬の減 等	
土木費	△ 88万3千円	公園の施設維持管理委託料の減 等	
消防費	△ 68万5千円	非常備消防費の団員報酬の減 等	
教育費	△ 34万4千円	栄町パークゴルフ場の備品購入費の減 等	
公債費	202万4千円	長期債利子の増、長期債元金の減	

## 質疑の様子？

### 瀏上議員

総務費の移住定住促進費が大きく減になっているがその理由は。



### 地域魅力創造課長

協力隊、地域活性化起業人およびプロジェクトマネージャーにおいて、それぞれ適格となるような人材が多くは見つからず、当初予算を割り込んでしまった。

### ◎その他特別会計補正予算

歳出の主な内容

国民健康保険事業 特別会計	補正額	補正前の額	補正後の額
	385万5千円	4億7,270万円	4億7,655万5千円
		高額療養費の給付見込額の増、直営診療施設勘定操出金の増 等	
後期高齢者医療事業 特別会計	補正額	補正前の額	補正後の額
	△ 233万2千円	7,934万円	7,700万8千円
		後期高齢者医療広域連合納付金の減	
国民健康保険 上川町立診療所事業 特別会計	補正額	補正前の額	補正後の額
	485万3千円	4億5,589万3千円	4億6,074万6千円
		町外での予防接種等に係るワクチン料および治療薬の使用増加に伴う医薬材料費の増 等	
介護医療院事業 特別会計	補正額	補正前の額	補正後の額
	35万9千円	1億6,643万8千円	1億6,679万7千円
		治療薬の使用増加に伴う医薬材料費の増 等	
簡易水道事業会計 (水道事業費用)	補正額	補正前の額	補正後の額
	807万6千円	1億6,094万6千円	1億6,902万2千円
		日東水源地灯油漏えい事故対応による委託料の増 等	



# 上川町議員 日々勉強中。



日頃より議員としての資質向上のため研修会等を行っています。今回は、その様子を一部お伝えします。

▽「議員のあり方 議会のあり方」

▽「待ったなしのヒグマ管理の現状と課題」

10月22日、東神楽町にて行われた議長会主催の研修会に参加した。議員活動の見えにくさから、住民からの不信任や議員のなり手不足の問題が発生していることや、ヒグマの生態からみる昨今のヒグマ事件の解説を聞いた。

▽「法務基礎研修〜条例ってなに?〜」

▽「一般質問の組み立て方」

11月21日、第一法規㈱の講師をお招きした。新人議員向けの「条例」の基本的な解説のほか、一般質問の組み立て方について、実際の事例を用い、具体的なテクニックを教わった。

▽「林業のサイクル〜森林の循環〜」

11月27日、上川町森林組合の講師をお招きした。林業の基礎知識・上川町の林業の実態について聞いた。計画的な伐採が必要な林業のサイクルについて学んだあと、「森林整備計画」を中心に活発な議論が交わされた。

▽「議会のペーパーレス化・タブレットの活用について」

12月9日、町との連携企業の㈱NTTドコモの講師をお招きした。地方議会でのタブレット活用実態について聞いたあと、実際に「SlideBooks クラウド本棚」というシステムを使い、タブレットで議案を閲覧するなどの機能を試した。

## まちづくりトークをしませんか？

地域の課題について議員と懇談しませんか?町民との対話、自治会や各種団体との意見交換の場としてご希望に応じて意見交換会を開催しています。

申込先～議会事務局 電話 (01658) 2-4064 FAX (01658) 2-1220

## 表紙のコメント

### 人があつまり、絆ふかまり、心あたたためて5年



5周年記念イベントで利用者と交流する松岡さん 記念パネルはペットボトルのふたを使って作成しました

#### 上川町社会福祉協議会地域コミュニティ係長 松岡 さん

令和元年12月25日にオープンしました。その翌月には新型コロナウイルスが国内で発生し、あっという間に感染予防対策に追われ、大変だった思い出があります。

当初からスタッフ一同で来館者へのあいさつを心がけてきたおかげで、多くの利用者さんと顔見知りになることができました。常連さんが浴槽に浮いたごみを取ってくれたり、脱衣所に軽くモップがけしてくれたりすることもあり、自分の家のお風呂のような、親しみある施設になってきたのかと思います。

これまでの取り組みとして、変わり湯（ゲルマニウム鉱石、ひのき、備長炭など）や、イベント（朝風呂、ピラティス、カブトムシ育成会など）をやってきました。また、今年度から「町民入浴無料の日」が制定され、初回を8月に行いました。次回は2月です。どうぞ多くの町民の皆さん、お越してください。

これからも地域とつながる拠点としての役割を果たし、地域の方々ともますます繋がっていきたくて考えておりますのでよろしくをお願いします。

ちょっと聞きたい

## 議会のなぞ

- Q 傍聴していると議案がどんどん通っていくけれど、ちゃんと審査してるんですか？
- A 大事な議案は議員5人で構成される委員会で予備的審査が行われています。

議案が採決されるまでのながれ



○町の施策や予算を考え、議案として提案する



(例)「新しく子育て世帯向け交付金制度を作りたい」



○議案について、専門委員会で話し合う  
**ここでしっかり審議!**



「財源は?」「例えばこんなケースはどうするの?」



○全員で話し合う  
 ○委員会で話し合ったことを報告することも(付託議案のみ)



賛成か反対か  
**採決**